

Truffle AI利用規約

本利用許諾規約(以下「本規約」といいます。)は、Truffle Technologies株式会社(以下「弊社」といいます。)が運営する「Truffle AI」を、お客様がご利用される際に適用されます。

お客様が本サービスの無料トライアルに登録される場合には、本規約はその無料トライアルにも適用されることとします。

お客様が、本規約の承諾を示すボタンをクリックするか、または本規約を参照した申込書に署名もしくは記名捺印した場合、本規約を内容とする契約がお客様と弊社との間に成立します(以下「本契約」といいます。)

お客様が弊社の直接の競合者である場合には、弊社が事前に書面で同意した場合を除き、本サービスにアクセスすることはできません。また、お客様は、本サービスの可用性、性能、機能の測定、その他のベンチマークの目的、または競合目的のためには、本サービスにアクセスすることができません。

第1条 (定義)

本規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによります。

- 「本サイト」とは、そのドメインが「app.truffle.ai」であるウェブサイト进行いいます。
- 「本サービス」とは、弊社が提供する本サイトを通じて提供するサービス一切のことをいいます。
- 「ユーザー」とは、お客様が本サービスを利用することを承認した個人または法人を意味します。
- 「知的財産権」とは、著作権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権その他の知的財産権(それらの権利を取得し、またはそれらの登録等を出願する権利を含む。)をいいます。
- 「エンドユーザー」とは、お客様の顧客であり、お客様が提供するサービスに関連して本サービスを利用する者をいいます。

第2条 (契約期間)

- 弊社が提供する本サービスの契約期間は、弊社とお客様が別途合意した期間とします。
- 前項の期間満了の1か月前までに、弊社所定の方法により、弊社またはお客様による更新しない旨の意思表示がない場合、利用契約の期間は当初の利用契約の契約期間と同期間延長されるものとし、その後も同様とします。

第3条 (ユーザーIDおよびパスワード)

- 弊社はユーザーに対して、本サービスを利用するために、所定の手続に従って、当該ユーザーに紐づくアカウントに係るユーザーIDおよびパスワードを付与します。
- ユーザーは、自己の責任において、ユーザーIDおよびパスワードを管理するものとします。
- ユーザーは、第三者にユーザーIDおよびパスワードを利用されることがないようにしなければなりません。
- ユーザーID、パスワードを利用して行われた行為は、当該ユーザーIDを保有しているユーザーの行為とみなすものとし、ユーザーは一切の責任を負うものとします。
- 万一、ユーザーIDまたはパスワードが第三者に漏洩してしまった場合、ただちに弊社に通知しなければなりません。
- ユーザーIDまたはパスワードの漏洩、不正使用などから損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負わず、また賠償いたしません。
- 本サービスのアカウントは、ユーザーに一身専属的に帰属します。ユーザーの本サービスにおける利用権は、第三者に譲渡、貸与または相続させることはできません。

第4条 (利用料金)

- 本サービスの利用料金、支払期日、支払方法は、弊社がTruffle AIご利用申込書に別途定めるものとします。
- 弊社が利用料金を計算し、当該ユーザーに対して請求を行うものとします。

3. 弊社は、お客様の承諾なく、利用料金の変更を行うことができます。
4. 利用料金に変更がある場合は、弊社は迅速にお客様へ通知するものとします。
5. 前項の通知後、お客様との間の契約が更新された場合、お客様は変更後の利用料金について承諾をしたものとみなし、当該更新後から変更後の利用料金が適用されるものとします。
6. お客様から弊社へ支払われた本サービスに関する一切の料金等は、いかなる理由であっても返還しないものとします。

第5条（再委託）

弊社は、本サービスの提供にあたり必要な行為の全部または一部を第三者に再委託することができます。

第6条（規約の変更）

弊社は、お客様の確認をもって本規約を随時変更することができ、変更後の規約は、お客様と弊社との間に適用されます。ただし、規約の変更時には1ヶ月の告知期間を設け、電子メールで告知をするものとし、この告知をもってお客様の確認はされたものとします。また、本規約に基づいて現に発生している権利義務は新規約による影響を受けないものとします。

第7条（禁止行為）

1. 本サービスの利用にあたっては、以下の各号を禁止事項とします。
 - a. ユーザーが虚偽の内容を登録すること
 - b. ユーザーが本規約の条項に違反すること
 - c. 本サイトのネットワーク、システムなどに過度な負荷をかける行為
 - d. 第三者のユーザーIDを不正に使用して本サービスを利用する行為
 - e. ユーザーIDを第三者に販売、再販、譲渡または使用させる行為
 - f. 第三者になりすます行為
 - g. 不正アクセスやクラッキングに相当する行為
 - h. 本サービスを利用して、ウィルス、ワーム、その他の有害または悪質なプログラム、コード、ファイル、スクリプトを保存もしくは送信すること
 - i. 他者を差別、誹謗中傷する行為
 - j. 他者の名誉、プライバシーまたは信用を侵害する行為
 - k. 他者の経済的または精神的な損害を与える行為
 - l. 猥褻または暴力的なメッセージ・画像・映像・音声等を送信、掲示、発信する行為
 - m. 法令、裁判所の判決、決定もしくは命令、または法令上拘束力のある行政措置に対する違反する行為
 - n. 第三者の個人情報、登録情報、利用履歴情報等を不正に収集、開示または提供する行為
 - o. 公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為
 - p. 犯罪行為もしくは犯罪行為に結びつく行為、またはその恐れのある行為
 - q. 社会的に不適切な行動と解される行為
 - r. 知的財産権を侵害する行為
 - s. 反社会的勢力等への利益供与行為
 - t. 本サービスの運営の妨げとなる行為またはそのおそれがあると弊社が判断した行為
 - u. その他、弊社が不適切と判断する行為
2. お客様は、本契約終了後も、本サービスに関する弊社のすべての権利を侵害する行為、または侵害する可能性のある行為を伴う類似のサービスを実施してはならないものとします。

第8条（秘密保持）

1. お客様および弊社は、事前に相手方の書面による承諾を得た場合を除き、受領側の当事者（以下「受領者」といいます。）は、本規約に関して得た秘密情報（本契約を締結した者でない限り知る

ことができない製品情報、弊社が秘密情報として明示した情報等をいう。)を第三者に漏洩しまたは本規約に定める目的以外には使用してはならないものとします。但し、次の各号に該当するものはこの限りではありません。

- a. 開示を受けた時、受領者が秘密保持義務を負うことなく既に保有していた情報
 - b. 開示を受けた時またはその後に、受領者が秘密保持義務を負うことなく第三者から正当に入手している情報
 - c. 開示を受けた時、既に公知であった情報、またはその後に受領者の責に帰さない事由により公知となった情報
 - d. 受領者が開示を受けた情報によらず、独自に開発した情報
 - e. 受領者は、管轄官公庁または行政機関の要求または裁判所の命令その他法令に基づき秘密情報の開示を求められた場合は、開示者に事前に通知のうえ、必要な範囲において当該秘密情報を開示することができます。
2. 前項の規定は本規約失効後も効力を有するものとします。

第9条（知的財産権の帰属）

1. 本サービスおよび本サービスに関して弊社が提供する本アプリケーション等ならびにこれらによって弊社がお客様に提供した一切の情報は、弊社に帰属するものとし、お客様は、本サービス利用以外の目的での利用等の一切の行為をすることはできません。
2. お客様が、本サービスの利用に基づき本サービスに関する発明、考案、ノウハウその他一切の技術的成果を得た場合には、それら一切の知的財産権は、弊社に帰属するものとします。
3. ステッカー、レシピおよびサジェスション（以下総称して「ステッカー等」といいます。）についての権利の帰属等については、以下のとおりとします。
 - a. ステッカー等は、弊社のサーバー上のアルゴリズムおよびプログラムであり弊社にその権利が帰属します。
 - b. カスタムステッカー等についても上記と同様に、弊社に帰属します。ただし、お客様が独自開発されたステッカー等エディターの場合を除きます。
 - c. ステッカー等の設定情報等については、本サイト上での弊社プログラムおよびアルゴリズムと同等の著作物であり、弊社に帰属しますが、お客様は本サイト上に限って自由に複製および活用することができます。ただし、お客様が作成されたステッカー等に関する情報（文字列、埋め込みコンテンツ、アクション・リストおよびこれらの挙動）は、お客様のアカウントに紐付いたご利用データであり、これらを一般化等することなく本サイトのプラットフォーム上で弊社が再配布および公開をすることはいたしません。
4. ライブラリーおよびSDKとともに配布するサンプルコードは、オープンソースとします。
5. サンプルコードの利用方法については、当該サンプルコードのソースコードに明記されているオープンソースのライセンスに準拠します。

第10条（コミュニケーションツールについての特約事項）

1. 弊社は、お客様がエンドユーザーとの間で本サービスをもってコミュニケーションを行うために利用するアプリケーションを、本サービスの一環として、Webアプリケーション、iOSアプリケーション、および、Androidアプリケーションの形式でご提供します（以下総称して「本アプリケーション」といいます。）。
2. 本アプリケーションならびにそのプログラムおよびアルゴリズムは、弊社に帰属します。本アプリケーションをお客様がエンドユーザーに対して提供する場合には、別途弊社とお客様の間で本アプリケーションのエンドユーザーへの提供に係る契約を締結する必要があります。

第11条（エンドユーザーに係る情報の委受託）

1. お客様は、本サービスの利用に際し、弊社に対し、以下の各号の目的で、エンドユーザーの個人情報を取扱いを委託し、弊社はこれを受託するものとします。

- a. 弊社およびお客様がエンドユーザーの属性や趣向等を分析し、当該属性や趣向等に最適化されたコンテンツまたは広告の表示およびメールの配信を行うこと。
 - b. 弊社およびお客様に対する問い合わせ内容の正確な把握および回答、情報の送付等の連絡。
 - c. エンドユーザーの不正行為の監視。
 - d. 属性等の類推情報（性別、年齢、ウェブサイトの閲覧履歴および行動履歴、購買履歴等を分析して、エンドユーザーの属性および趣向等を弊社で独自に類推した情報を指します。）および統計情報の作成。なお、弊社は、当該情報を作成する際には、特定の個人が識別されないように、匿名化措置を講じます。
 - e. その他弊社とお客様の間で合意する業務の遂行。
2. お客様は、お客様がエンドユーザーに対して公表しているお客様自身の個人情報保護方針に、利用目的として前項のお客様が弊社に委託する業務を明記しなければなりません。
 3. お客様および弊社は、エンドユーザーの個人情報について、次の各号の定めを遵守することとします。
 - a. 取得した個人情報につき、個人情報保護法その他法令等を遵守し、責任をもって厳重かつ適正な管理を行うこと。
 - b. 個人情報を、各々が定めた目的にのみ利用するものとし、それ以外のいかなる目的のためにも利用しないこと。
 - c. 個人情報を、個人情報保護法第23条第1項各号に該当する場合を除いて、当該エンドユーザーの許可なく第三者（同法第23条に定める「第三者」をいいます。）に提供しないこと。
 - d. 利用目的の達成または利用契約終了により利用を終了した個人情報を、速やかに安全な方法で責任をもって消去・廃棄すること。
 4. 個人情報が本サービスの提供または利用以外の目的に利用された場合、またはエンドユーザーの許可を得ない第三者への開示・漏洩したことが判明した場合、当該目的外利用、開示または漏洩にかかる当事者は相手方に速やかに書面で報告することとします。また、個人情報に関する資料・データ等を紛失し、または盗難された場合も同様とします。
 5. お客様および弊社が本条に違反した場合、当該違反行為を行った当事者は、当該個人情報の目的外利用、開示または漏洩により生じたあらゆる問題（エンドユーザーからの損害賠償請求を含む）につき単独でこれを解決するものとし、相手方に一切責任を負わせないものとします。
 6. 本条に定める義務は、本契約終了後も効力を失うことなく存続します。

第12条（暴力団等排除に係る解除）

1. お客様が次の各号のいずれかに該当した場合、弊社は、何らの通知・催告を要せず、直ちに本規約の全部または一部を解除することができるものとします。
 - a. お客様またはお客様の役員等（法人にあっては非常勤を含む役員および支配人ならびに営業所の代表者、その他の団体にあっては法人の役員等と同様の責任を有する代表者および理事等、個人にあってはその者および支店または営業所を代表する者をいう。以下同じ。）に暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）または暴力団員ではないが暴対法第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）と関係を持ちながら、その組織の威力を背景として暴力的不法行為等を行う者（以下「暴力団関係者」という。）がいると認められるとき。
 - b. 暴力団員または暴力団関係者（以下「暴力団員等」という。）がお客様の経営または運営に実質的に関与していると認められるとき。
 - c. お客様の役員等または使用人が、暴力団の威力もしくは暴力団員等または暴力団員等が経営もしくは運営に実質的に関与している法人等を利用してると認められるとき。
 - d. お客様の役員等または使用人が、暴力団もしくは暴力団員等または暴力団員等が経営もしくは運営に実質的に関与している法人等に対して資金等を供給し、または便宜を供与するなど暴力団の維持運営に協力し、または関与していると認められるとき。

- e. お客様の役員等または使用人が、暴力団または暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
 - f. お客様の役員等または使用人が、前各号のいずれかに該当する法人等であることを知りながら、これを利用するなどしていると認められるとき。
2. 弊社が前項の規定により本規約の全部または一部を解除した場合は、お客様に損害が生じても、弊社はこれを一切賠償いたしません。

第13条（損害賠償）

お客様が、本規約の定める義務に違反したときは、お客様は弊社に対し、弊社が直接または間接的に被った損害について、賠償する義務を負うものとします。

第14条（遅延損害金）

お客様がこの契約に基づく金銭債務の履行を遅滞したときは、お客様は支払期日の翌日から支払のあった日まで、支払うべき金額に対し年14.6%の割合の遅延損害金を弊社に支払うものとします。

第15条（本サービスの提供停止、変更など）

1. 弊社は、システムの定期点検やサーバーの増設ならびに交換等の必要がある場合、本サービスを一時停止、変更、追加することができます。
2. 弊社は、新たなサービスの開始や本サービスの改訂および本サービスの不具合を修正する必要がある場合に、本サービスを一時停止、変更、追加することができます。
3. 前二項に記載された範囲の本サービスの中断に際しては緊急やむを得ない場合を除き事前にその旨をお客様に対し告知することとします。
4. 弊社は、火災、停電、その他の事故、地震、その他天災、戦争、政変、その他これらに類する非常事態、基幹通信事業者などに起因する事態、その他これらに順ずる不測の事態によって本サービスのサービス提供が困難となった場合、本サービスの提供を一時停止することができます。
5. 弊社が第1項、第2項及び前項の事由により本サービスを一時停止した場合であっても、弊社はお客様に対していかなる責任も負わないものとします。

第16条（お客様の責任）

1. お客様は、お客様ご自身の責任において本サービスを利用する者とし、本サービスにおいて行った一切の行為およびその結果について一切の責任を負うものとします。
2. お客様は、本サービスを利用するために必要な機器の購入および設定等についてすべてお客様の責任と負担で行い、その結果について一切の責任を負うものとします。
3. 弊社は、お客様が本規約に違反して本サービスを利用していると認めた場合、弊社が必要かつ適切と判断する措置を講じる場合があり、お客様は当該措置に従う義務を負います。

第17条（免責事項）

1. 弊社の故意または重過失によりお客様に損害が生じた場合、弊社は、お客様から当該損害が発生した月に受領した利用料金相当額を上限として、お客様に生じた直接かつ現実の損害につき賠償を行うものとします。なお、弊社は、本サービスについてお客様に発生した間接損害および特別損害（使用機会の逸失、業務の中断、逸失利益等による損害を含みますが、これらに限られません。）につき、いかなる責任も負わないものとします。
2. 本サービスを媒介としたお客様と第三者間の一切の取引および紛争等に関して、弊社は一切関与せず、いかなる責任も負わないものとします。

第18条（個人情報保護への取り組み）

1. 弊社は、ユーザーの個人情報の取扱いについては、本ウェブサイト上に提示する「個人情報保護方針」に基づき、適切に取扱うものとします。「個人情報保護方針」は次のURLよりご確認いただけます。

<https://truffle.ai/privacy.pdf>

2. ユーザーは、本サービスを利用される前に、上記「個人情報保護方針」を必ず確認し、その内容に同意の上、本サービスを利用するものとします。

第19条（準拠法）

本規約の成立、効力、履行および解釈に関しては、日本法が適用されるものとします。

第20条（合意管轄）

本規約に関して、裁判上の争いが生じたときは、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第1審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

Truffle AIサービスレベル契約（SLA）

1.
 - a. Truffle AI SLA: Truffle AIに係る利用規約（以下「本契約」といいます。）の期間中、本契約に定める当社（以下「Truffle Technologies」といいます。）が、本契約に定めるお客様（以下「お客様」といいます。）に対して、各月の 99.9% 以上の時間、以下に定義する Truffle AI対象サービスが機能し、お客様が利用できるようにするよう、お客様及びTruffle Technologiesとの間で、サービスレベル契約を締結するものとします（以下「Truffle AI SLA」といいます。）。
 - b. Truffle Technologies がTruffle AI SLA を満たしておらず（なお、ユーザーエラー率の算定その他Truffle AI SLAを満たしているか否かについては、Truffle Technologiesがサーバーのログ等を元に自ら判定した結果によるものとします。）、かつお客様が Truffle AI SLA に基づく義務を満たしていることをTruffle Technologiesが認める場合、お客様は以下に定義するサービスクレジットを受け取ることができます。なお、本契約において後払いの月次請求プランをご契約中のお客様の場合は、サービスクレジットに定める日数の利用額相当額の金銭が提供されます。
 - c. Truffle AI SLA は、Truffle Technologies による Truffle AI SLA のあらゆる不履行に対して、唯一かつ排他的にお客様を救済する手段を定めるものです。

2. 定義: Truffle AI SLA には次の定義が適用されます。

- a. 「ユーザーエラー率」とは、お客様のTruffle AI 対象サービスへのリクエストが正常に処理されない時間の1か月の合計が、当該月の総時間（ただし、Truffle AI 対象サービスを提供している時間に限る。）に占める割合をいう。
- b. 「ダウンタイム」とは、ドメインでユーザー エラー率が 5% を上回る状態のことです。サーバー側のエラー率に基づいて計測されます。ただし、ユーザーに事前告知されたメンテナンス、ダウンタイムは対象としません。
- c. 「Truffle AI 対象サービス」とは、サービスを構成する app.truffle.ai（ウェブアプリケーション）をいいます。なお、サービスの一部である、INBOX.app for iOS（iOSアプリケーション）、INBOX.app for Android（Androidアプリケーション）、Truffle AI SDK for iOS（iOS SDK）、Truffle AI SDK for Android、Push通知機能（EmailやSMS、Facebook Messenger、LINE等の外部通信サービスやアプリケーションを経由）は含まれません。
- d. 「各月の稼働率」とは、月間総分数から当月のダウンタイム分数を差し引き、月間総分数で割った数値のことです。
- e. 「サービス」とは、Truffle Technologiesが本契約に基づいてお客様に提供するTruffle AI 対象サービスのことです。
- f. 「サービスクレジット」とは、各月の稼働率が下表の割合の場合にお客様に与えられる、本契約の契約期間終了後に無料で追加される Truffle AI 対象サービスを利用することができる日数のことをいいます。

各月の稼働率	サービスクレジット
99.0% 以上 99.9% 未満	3日
95.0% 以上 99.0% 未満	7日
95.0% 未満	15日

3. サービスクレジットの要求義務: 上記のサービスクレジットを受けるには、お客様がサービスクレジットの対象となった時点（Truffle Technologiesが各月の稼働率を算定し、お客様にサービスクレジットの対象となった旨通知した時点を意味します。）から 30 日以内に、お客様がTruffle Technologies に通知する必要があります。この要件を遵守しなかった場合、サービスクレジットを受ける権利は失効します。
4. サービスクレジットの最長期間: 1ヶ月に発生する合計ダウンタイム期間に対してTruffle Technologies がお客様に発行するサービスクレジットの最大総数は、15 日間（または、毎月ご請求するお客様のアカウントに対するサービスクレジット 15 日分の利用額に相当する金銭）を超え

ないものとし、Truffle Technologies の月次請求プランをご利用のお客様以外は、サービスクレジットを金銭に交換・変更等することはできません。

5. Truffle AI SLA の免責: Truffle AI SLA は、Truffle AI 対象サービス以外には一切適用されません。また、(i) 本契約第15条「本サービスの提供停止、変更など」に定められる事項を原因とするパフォーマンスの問題、(ii) Truffle Technologies が制御不能な要因、弊社サーバー外のお客様の環境および Truffle Technologies が利用する外部ツールに依存する遅配、遅延、配信失敗等、(ii) Truffle Technologies の一次的な管理下でないお客様、第三者、またはその双方の設備機器に起因するパフォーマンスの問題にも適用されません。

以上